

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	霧ヶ峰自然保全再生事業
事業主体 (連絡先)	霧ヶ峰草原再生協議会 諏訪市上川1-1644-10
事業区分	環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト
総事業費	491,008円 (うち支援金: 387,000円)

### 事業内容

県内でも屈指の優れた霧ヶ峰の草原景観を保護・再生していくため、外来植物の駆除活動及び増えすぎた特定の種(優先種)により他の植物が生育できない草原を、多様な植物が生育する草原に再生するための活動を実施。また、ニホンジカの食害被害防止のため既設鋼鉄柵のメンテナンスや電気柵の設置を実施した。

- ・外来植物駆除作業 計6回実施 参加者273名  
駆除量約2,280kg
- ・優先種刈取作業 計3回実施 参加者123名  
刈取面積約3ha
- ・電気柵設置作業等 設置 5月19日実施  
撤去 11月1日実施

### 事業効果

- ①外来種駆除と優先種の刈取り作業は、短期間に効果は現れないため、複数年同一地区を反復して駆除する必要があるが、モニタリング調査により、効率的・効果的な駆除方法で作業の実施ができた。
- ②ニホンジカ被害防止の柵設置により、シカの侵入がなくなり、防鹿柵の中では植生が回復している。
- ③県、市、地権者及び地域住民と協働して作業を行い、自然保護に対する意識の醸成や高山植物の保護による観光振興に寄与した。

### 今後の取り組み

外来植物駆除及び優先種の刈取作業をモニタリング調査により、効率的・効果的な手法を模索しながら平成30年度まで継続して実施する。将来的には他地域へ拡大して、地域一体となって霧ヶ峰全体の草原の保全再生を図る。

また、ニホンジカの被害防止のための柵の設置については、電気柵の延長を検討し、高山植物の保護・回復に努めたい。



【作業の様子】

### 【目標・ねらい】

- ①効率的・効果的な作業の実施
- ②防鹿柵設置による植生の回復
- ③自然保護に対する意識向上、観光客の増加

### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

- ・刈取作業と防鹿柵設置を複合的に実施したことで、予想を上回る速さで高山植物(ニッコウキスゲ)復活の兆しがある。
- ・作業参加者が募集人数を上回った。